

学習内容報告書 フォーマット

学校名	都城市立笛水小学校・笛水中学校（笛水小中学校）
授業者	眞鍋 和人

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海に親しむ活動

1-2. 学年

全学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合、生活科

1-4. 単元の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・ 海辺の清掃活動 ・ 海洋ゴミ（マイクロプラスチック）についての学習 ・ 海の生き物についての学習 ・ 着衣泳体験などの水難訓練 ・ SUP体験

1-5. 単元設定の理由・ねらい

<p>学び舎がある笛水地区は、周囲を山々に囲まれている。そのため、海と関わる生活体験が少ない児童生徒が多い。海について学び、親しむ活動を通して、宮崎の川や海に生息する生き物について知り、海洋教育の調べ学習に役立てること、地域の施設について知るとともに、自然に親しみ、自然保護への関心を高めることをねらいとしている。</p>

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境の保全について考えて行動する態度 ・ 課題を見だし、解決していく力 ・ 情報を収集・分析し、発信していく力

1-7. 単元の展開（全 7 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>(1) 海の豊かさを守る取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 襟裳岬の漁場再生の物語についてDVD資料を鑑賞する。 	<p><教師の指導></p> <p>動画資料などを活用し、海の豊かさは海だけではなく、豊かな森と関係があることに気付かせる。</p>

	<p>(2) 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の豊かさとはどのようなものなのか、海の豊かさを守る取組について考える。 	<p><主な評価></p> <p>海と森との関わりについて考えることができた。</p>
5	<p>(1) 海辺の清掃活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 一ツ葉海水浴場周辺の浜辺の清掃 <p>(2) 海洋ゴミ（マイクロプラスチック）についての学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂浜に混ざっているマイクロプラスチックの探し方やそれに関連した環境問題について <p>(3) 海の危険な生き物についての学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 海水浴や海でのレジャーで遭遇する可能性のある危険な生き物について <p>(4) 着衣泳体験などの水難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 着衣浮き体験 ペットボトルを使った救助方法について ライフジャケットの重要性について <p>(5) SUP体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> SUPを使って海と親しむ 	<p><教師の指導></p> <p>体験活動をとおして、美しい海とこれからも親しんでいくために必要なことについて考えさせる。人々の生活と豊かな自然の双方が持続可能な社会にしていくための考えるきっかけをつくる。</p> <p><主な評価></p> <p>海の豊かさと環境問題について、実際の体験活動から考えることができた。</p> <p><外部連携></p> <p>アクティブスポーツ・ガンコ</p>
1	<p>これまでの学習をまとめる。</p>	

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

SUP体験をとおして海に親しみ、海という自然環境への関心を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 本時の活動について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 用具の確認○ ライフジャケットの付け方○ パドルの持ち方と使い方○ ボードの扱い方○ その他注意点など <p>2 3つのグループに分かれてSUP体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 15分ごとにローテーションで体験する。○ 休憩中はしっかりと休憩する。 <p><児童生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none">・ 初めてサーフボードの上に立つことができうれしかった。・ また機会があったら挑戦してみたい。 <p>3 片付け</p> <ul style="list-style-type: none">○ パドルやボードの海水を真水で洗い流す。○ コンテナにきれいに並べる。 <p>4 お礼の言葉</p>	<p><準備物></p> <p>水着、バスタオル、帽子、日焼け止めクリーム 水中めがね、ビーチサンダル、着替えなど</p> <p><道具類></p> <p>ライフジャケット、スタンドアップパドルボード</p> <p><教師の指導・支援></p> <p>事前の水難訓練でライフジャケットに慣れさせ、海への恐怖心が楽しみに変わるように支援する。また、沖に行き過ぎないようにすること、適宜休憩が取れるようにすることを意識して、グループでの活動をしっかり見守る。</p> <p><評価の視点></p> <p>SUP体験をとおして海に親しみ、海という自然環境への関心を高めることができたか。(観察・感想文)</p> 

3. 今回の活動の自己評価

- 普段体験できないSUP体験をとおして、海洋活動の楽しさを知り、海という自然環境への関心を高めることができた。
- この活動の前に、海の危険な生き物についての学習やマイクロプラスチックゴミ問題、着衣泳体験などを学習・体験しており、活動全体をとおして海という自然環境への理解を深めることができた。
- この活動で学んだことから、マイクロプラスチックについて自由研究で調べる生徒もいたことから、環境問題への関心も高まった。

4. 今後の課題

- 重点項目であるSDGs 14「海の豊かさを守ろう」という取組について、環境問題へのより一層の関心を高めるためにも、校内でできるゴミ問題対策も考えていきたい。
- 笛水には、野尻湖というダム湖があることから、より身近な高崎川水系の環境問題や生物保護にも取り組ませたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし